

- 問1 東大寺にある、三角形の材木を組み上げた「校倉造」という建築様式の倉庫には、当時の国際交流を物語る工芸品が多数保管されています。この倉庫の名称と、そこで見られる国際的な特徴を持つ文化の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 法隆寺 – 飛鳥文化                      2. 金閣 – 北山文化                      3. 平等院 – 国風文化                      4. 正倉院 – 天平文化
- 問2 奈良時代の日本は、大陸の進んだ文化や仏教の經典を取り入れるために遣唐使を派遣しました。遣唐使が唐の都である長安に向かうための経路において、初期は九州から朝鮮半島の西沿岸を北上して進む「北路」が一般的でしたが、のちに東シナ海を直接横断して揚州方面へと向かうようになった経路の名称を答えなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. シルクロード                      2. 南海路                      3. 東山道                      4. 南路
- 問3 奈良時代の土地制度の変遷について述べた文章のうち、墾田永年私財法が制定された背景や目的を正しく説明しているものを選びなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 農地が荒れ果てたため、期限付きで私有を認めることで一時的に食糧増産を図ろうとした。                      2. 大名や有力な武士の勢力を抑えるため、開墾した土地をすべて国家に返還させる制度を強化した。                      3. 人口増加による口分田の不足を解消するため、開墾した土地の永久私有を認めて農民の意欲を高めようとした。                      4. 貨幣経済が浸透したことで、土地を売買することを自由に認め、税収を安定させようとした。
- 問4 708年に日本で発行された貨幣で、当時の東アジアにおいて政治・文化の両面で大きな影響力を持っていた唐の貨幣（開元通宝）にならって作られたものを何といいますか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
1. 寛永通宝                      2. 富本銭                      3. 慶長小判                      4. 和同開珎
- 問5 律令国家が「班田収授法」を定め、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与えた目的と、その背景にある仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 土地の売買を自由化することで流通を活発にし、国家の財政を潤すため。                      2. 貴族や寺社に広い私有地を与え、地方の開墾を効率的に進めさせるため。                      3. 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。                      4. 能力の高い農民に多くの土地を優先的に配分し、農業の生産性を高めるため。
- 問6 奈良時代、聖武天皇の遺愛の品や東大寺の宝物を納めるために建てられた施設について述べたものとして、最も適切な名称を答えなさい。この施設は、三角形の材木を組み上げた「校倉造（あぜくらづくり）」という建築様式が採用されていることでも知られています。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 正倉院                      2. 唐招提寺                      3. 平等院                      4. 法隆寺
- 問7 日本の社会と経済の歴史をまとめた年表において、奈良時代の律令政治に関する記述があります。この時代、戸籍に基づいて土地を配分する制度がありましたが、その配分の対象となる人物の条件として正しいものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 家督を継ぐ長男のみが対象となり、女子や次男以下には配分されなかった。                      2. 性別や身分に関わらず、6歳以上の男女であれば対象となった。                      3. 国司や郡司などの役職に就いている地方の有力者のみが対象となった。                      4. 自力で原野を切り開き、新しい田地を開発した者のみが対象となった。
- 問8 律令制度のもと、政府は土地と人民を直接支配する原則を掲げました。この原則に基づき、6年ごとに作成される戸籍に従って、6歳以上の男女に一定の土地を与え、死後は国に返還させるという仕組みを何といいますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 地租改正                      2. 班田収授の法                      3. 公地公民の制                      4. 墾田永年私財法
- 問9 聖武天皇が国分寺や国分尼寺を全国に設置した目的について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 壬申の乱によって打撃を受けた地方勢力を、寺院の管理を通じて中央集権体制に組み込むため。                      2. 律令制度に基づき、全国の戸籍調査を円滑に進めるための地方役所の出先機関とするため。                      3. 疫病の流行や貴族の反乱による社会の混乱を、仏教の力によって鎮め、国家の安泰を願うため。                      4. 藤原氏が摂政や関白として実権を握るのを防ぐため、寺院に独自の軍事力を持たせるため。
- 問10 奈良時代、聖武天皇が東大寺に大仏を造り、全国に国分寺や国分尼寺を建立した目的として最も適切なものはどれですか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 遣唐使の派遣に必要な膨大な経費を賄うため、全国の寺院を拠点として広く寄付を募り、財政を立て直すため。                      2. 仏教の力によって伝染病や社会の不安を鎮め、国家の安定を図ろうとする鎮護国家の思想を実践するため。                      3. 地方の豪族に寺院を管理させることで、中央政府による土地と人民の支配を強化し、班田収授法を徹底するため。                      4. 海外からの軍事的な脅威に対抗するために、寺院を軍事拠点として整備し、僧兵を訓練して防衛力を高めるため。
- 問11 聖武天皇が国ごとに国分寺や国分尼寺を建て、都に東大寺の大仏を造営した理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 地方の豪族を強力な武力で圧迫して支配を強めるため                      2. 武士の軍事力を結集して新しい政権を樹立するため                      3. 仏教の力によって疫病や社会不安などの災いから国を護るため                      4. 大陸との貿易を独占して金銀などの財貨を集めるため
- 問12 奈良時代の文化について説明した文章として、正しいものはどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 大陸から稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、強力な勢力を持つ王が各地に現れるようになった。                      2. 聖武天皇の遺品が東大寺の正倉院に納められ、シルクロードを通じて伝わった西アジアの工芸品などが現代に伝えられている。                      3. 宋に渡って禅宗を学んだ道元が、越前国に永平寺を建立して厳しい修行による悟りを説いた。                      4. 足利義満が明と貿易を開始し、勘合を用いることで倭寇と正式な貿易船を区別して経済的利益を追求した。
- 問13 奈良時代に編纂された「風土記」の記述内容として、当時の政府が地方を管理する上で重視した視点に当てはまらないものはどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 地名の由来や、古くからその地域に伝わっている伝説                      2. その土地で得られる動植物や鉱物などの産物の種類                      3. その土地が農業に適しているかなどの肥沃の状態                      4. 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史